

会 議 録

会議名 (協議会等名)	小山公民館運営協議会 (第 2 回)		
事務局 (担当課)	小山公民館 電話 0 4 2 - 7 5 5 - 7 5 0 0 (直通)		
開催日時	令和 4 年 1 0 月 2 7 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 3 5 分		
開催場所	小山公民館 1 階 大会議室		
出席者	委 員	1 8 人 (別紙のとおり)	
	その他	3 人 (小山公民館体育部長、文化部長、青少年部長、広報部長)	
	事務局	3 人 (館長代理、主事 2 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議次第	1 開会 2 会長 (公民館長) あいさつ 3 議題 (1) 令和 4 年度事業結果及び予定について (2) 令和 4 年度の諸課題等について (3) その他 4 閉会		

協 議 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

館長代理より、本日の運営協議会が委員過半数の出席があり、小山公民館運営協議会規約第5条の2の規定により定足数に達していることについて報告した。また、本運営協議会の会議は、相模原市審議会等公開基準に基づき、公開とさせていただき旨説明を行い、了承を得た。

2 会長（公民館長）あいさつ

星公民館長（運営協議会会長）よりあいさつを行った。

3 議題

安藤議長の進行により、議題の協議に入った。

(1) 令和4年度事業結果及び予定について

令和4年度事業結果及び予定について、資料に基づき、事務局及び各団体から選出された委員より説明を行った。

質問は次のとおり

○(6) 学級等のふれあい講座の防犯講習会について、警察署や防犯交通安全指導員を講師に招いて行ったということだが、自治会連合会も防災・交通の活動を行っている。また、運営協議会の委員にも交通安全協会の方もいる。今後、こういった事業を行う際には、公民館だけでなく、声をかけていただいで開催した方がよいのではと思う。どのように考えているのか。

●今回のことに関しては、お声がけをせず、申し訳なかったと思っている。防犯等については、今後も継続して開催した方がよいと思っており、来年度以降、同様の事業を開催する際には、ぜひ声をかけさせていただきたいと思っている。

○前向きに検討をお願いしたい。

○防犯・交通・防災はどの人にとっても大事なことなので、小山地区の共有の事柄として、今後とも前向きに検討いただきたい。

○今年度は、どの専門部会も前向きに事業を実施していて、大変だとは思いますが、今後も続けていただきたいと思う。予算についてお聞きしたい。市の予算がだいぶ削られたと聞いた。公民館事業を実施するにあたっての予算は、以前、70～80万円だったかと思う。現在はどのくらい削られているのか。

●令和2年度に令和元年度と比較して公民館予算全体が3割削減され、今年度も削減されたままの金額の予算となっている。もともと多くない予算の中でも事業を行う事業費の約80万円は確保し、こういった形でも事業が実施できるように、各専門部等の事業に割り振っている。

- 80万円の金額は変わっていないのであれば、どういったところが削られたのか。
 - 令和2年度に予算全体を3割カットされたと。カットされた後の金額が80万円ということだと。その予算は、個々の事業に対しての金額ではなく、公民館事業を行うにあたって、各々割り振って運営していくという解釈でよろしいか。
 - そのとおりである。
 - 今後また削減されたら、その削減された金額で公民館事業の運営を考えていくということよろしいか。
 - そのとおりである。
 - だいたい理解したが、公民館事業は、地域の活性化のためにやっている事業で、その予算はほんのわずかであると思う。市の方に、もうこれ以上、公民館事業費は削減しないように提言した方がよいと思う。よろしく願いたい。
 - 事業の中で、運動会が中止ということだが、ふるさとまつりの盆踊り大会と運動会は3年間中止となった。大勢の方が集まる事業なので、仕方ないと思うが、来年度はできるように期待をしたい。
- その後は特に質問等はなく、議題（1）については了承された。

(2) 令和4年度の諸課題等について

令和4年度の諸課題等として、次の2件について、資料に基づき、事務局より説明を行った。

ア 令和5・6年度相模原市スポーツ推進委員の推薦について

イ 令和4年度小山公民館運営協議会等活動費補助金予算の組換えについて

意見は次のとおり

- 運営協議会の予算の組換えについてだが、今年度も約6か月に過ぎようとしている。これまでの予算の執行状況について確認できる資料があった方がよいのでは。
 - 現在は、約半分ほど執行している。今後は、執行状況のわかる資料を提示できるようにしたい。
- なお、第1回運営委員会で今年度の視察研修会を中止したことに伴い、不用となった研修費を事務費へ組み換えることについて、委員全員から承認いただいた。
- その後は特に質問等はなく、議題（2）については了承された。

(3) その他

その他として、次の4件について、資料に基づき、事務局より説明を行った。

ア 公民館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン等の改訂について

イ 第64回神奈川県公民館大会への参加について

ウ 相模原市公民館連絡協議会表彰 表彰式について

エ 令和5年小山地区「新春のつどい」について

特に質問等はなく、議題(3)については了承された。

その後、全般にわたって質問、意見がされた。内容については次のとおり

○公民館事業について、小山公民館は単発の講座はたくさん開催されているが、学級が実施されていない。学級は、地域の住民が課題を出し合い、学び仲間づくりをしていくものと理解している。今の公民館の講座では、地域住民の課題を吸い上げることができていないと感じる。どのように考えているのか。また、市から何かガイドラインが出ているのか。

●市からは特にガイドラインは出ていない。地域の課題を拾い上げるのが公民館というのはまさにそのとおりだと思う。公民館で行っている講座は、地域の住民の方々と構成されている専門部や実行委員会で話し合い、内容を決めているため、課題を全く扱えていないとは思っておらず、地域課題の解決の一助にはなっているものと思っている。

なお、学級に関しては、高齢者学級はふれあい講座として今年度は開催し、女性学級については、来年度開設できるよう準備委員の募集を行いたいと考えている。また、各講座においても、開催の都度、アンケートを実施しており、今後開催してほしい講座内容など参加者にお聞きし、その中から選択するなど、専門部員の意見だけではなく、住民の意見も取り入れて行っている。

○他館ではいろいろな学級が開催されており、住民同士が集まって学習しているので、ぜひ小山公民館でも開催をお願いしたい。

○社会福祉協議会で、「小山の好きなところ」というテーマで絵を募集し、その中から何点かを選び、来年度のカレンダーを作ることとなった。135点の応募があり、11月1日から1か月間、公民館のロビーで展示を行うこととなった。カレンダーは11月半ばごろ出来上がる予定。また、11月5日にふれあいのつどいを開催するが、内容は、カードゲームを行うことによりSDGsを学ぼうというもの。4人1組で参加していただくことになっている。

○先ほどの委員の意見について、追加で聞きたいことがある。各部会でいろいろ検討している、お話ししているとのことだが、地域住民の声を聞く、提案を聞くというシステムが現在、公民館にはあるのか。そういったシステムが

なければ、先ほどの委員の話のような小山地区の一般住民のさまざまな意見を聞くということではできないと思うが、いかかが。

- 確かにそうかもしれないが、各専門部の部員も小山地区の住民であるので、一般住民の意見が全く反映されないとは思っていない。
- 各専門部の部員が小山地区の住民であることは理解している。そうではなく、委員の言われた地域住民の声を聞くというのは、もっと拡大された話ではないかと。公民館が一般住民の関心事を聞く、もしくは、各専門部員に直接伝えられるようなシステムはあるのかということが聞きたい。
- 委員は学級のことを言われたと思うが。小山公民館には講座はあるが、学級はないと。なぜ、小山公民館には学級がないのかということではないのか。
- 学級そのものを成立させるためには、委員が言われたことが基本になるということが言いたかったことである。
- 学級は準備委員会を立ち上げ、学習内容を定め、回数や参加人数を決めて開催する。それに対し、講座は、人数だけ決め、広く一般住民に周知し参加してもらおう。10回やる学級は全て同じ方が参加するが、講座は毎回違う方が参加できるということもある。学級と講座の構成は違うので、どちらがいいとは一概に言えないと思っている。
確かに、今の公民館には、一般の方の意見を吸い上げるというシステムはない。
- もっと広い意味で、地域の住民の声を聞くシステムというのには必要ではないかと。もっと広く門戸を開いているいろいろな意見を聞くのは必要だと思う。
- 自主企画提案事業というのがあり、先ほどの話と合うのではないかと思う。個人やサークルがこれまで学んだものを地域に知の還元を行う制度で、先ほど言われたような、やりたいことや関心事などを公民館へ提案していただき、実施していくことも検討していきたいと考えている。
- 先ほど館長もいわれていたが、学習と学級の考え方は違う。学級は、地域住民が生活の中で見つけた課題を持ち寄り、同じような仲間と話し合いを重ね、学習し、その学習を地域にどう還元していくか、学びの成果に結びつけるかというのが学級で、ある程度の継続が必要だと思っている。学級については、検討していただきたいと思う。
- 公民館まつりについてだが、以前、まつりを開催するにあたり、展示がほとんどないということがあった。相談を受けたことがあり、本部に話をして、展示をしたという経緯がある。最近のまつりは、利用者懇談会の方たちを中心にやっている。小山公民館は、小山地区のための公民館、文化を活性化するためにあるのだから、公民館で活動していなくても、声をかけるべきだと思う。ぜひ、各自治会や個人的に活動している団体等にも声をかけるという

姿勢が必要では。

○いろいろな意見が出たが、今後、その内容を検討していただけるかどうかだ
と思う。無理なものは無理だと思う。また、すぐに結論が出るものでもない。

○私が言いたかったことも同様で、今回はいろいろな意見が出た、それを今後
はこうしていこう、ただし、予算の範囲内で検討することとする。そういった
ことでよろしいか。

●貴重なご意見をたくさんいただいたので、今後、検討していきたいと思っ
ている。

○補給廠関連で、スポーツレクリエーションパークは、非常に活性化されてい
る。南北道路側のネットが張ってある部分、少し低いということで伸ばす計
画があり、いずれ工事が始まる予定であると聞いている。また、東西道路の
横浜線側の15ヘクタール部分についても、相模原駅北口地区まちづくり推
進協議会という組織で計画の検討がされている。それとは別に、11月17
日に小山地区まちづくり懇談会が開催される。そこでも補給廠がらみの要望
事項を伝える予定である。

話は変わるが、小山地区の交通事故が減少傾向にある。今後も事故等には気
をつけていただきたい。

4 閉会

長谷川副議長から閉会のあいさつをした。

小山公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	星 清次	小山公民館長	会 長	出席
2	中里 雅子	向陽小学校校長		出席
3	山崎 真理	小山中学校校長		欠席
4	安藤 孝洋	小山地区自治会連合会会長	議 長	出席
5	福田 雅幸	小山地区自治会連合会副会長		出席
6	江口 基明	小山地区自治会連合会副会長		出席
7	入谷 利郎	小山地区自治会連合会事務局長		出席
8	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会会長	副議長	出席
9	増田 國男	小山地区民生委員児童委員協議会会長		出席
10	竹内 博之	小山地区老人クラブ連合会会長	監 査	出席
11	坂内 ツナ子	小山地区子ども会育成連絡協議会会長		欠席
12	大谷 春枝	向陽小学校PTA会長		欠席
13	勝西 栄	小山中学校PTA会長		欠席
14	石崎 加奈子	青少年指導委員地区長		出席
15	岩井 章	スポーツ推進委員幹事		出席
16	杉山 安由	小山地区健康づくり普及員協議会理事		出席
17	駒形 典彦	向陽こどもセンター館長		出席
18	宍戸 佳子	利用者懇談会会長	会 計	出席
19	小宮 里美	利用者懇談会副会長		出席
20	阿部 公作	小山地区青少年健全育成協議会副会長		出席
21	加藤 秀子	交通安全協会小山支部支部長		出席
22	山崎 順二	学識経験者		出席
23	伊藤 道子	学識経験者		欠席